Japan Water Agency
水機構ニュース
NEWS

利根川水系・荒川水系

●滝沢ダム管理所（埼玉県）

初めての非常用洪水吐きゲートからの点検放流を実施

ダイナミックな放流に歓声が

4月19日（土）、洪水吐きゲートの点検放流を実施しました。

点検放流は、ダムに設置されている洪水を調節するためのゲートが確実に動作することを確認するために、実際の放流を伴う点検を行うものです。特に非常用洪水吐きゲートについては、ダム管理開始以降初めて（平成20年度の試験放流以来6年ぶり）の放流となりました。

当日はダムの職員と約500人の一般来場者が見守る中、常用洪水吐きゲート及び非常用洪水吐きゲートそれぞれから約10m³/sの放流を行い、無事にゲートの正常な動作、放流状況を確認することができました。

点検放流にご協力いただきました関係機関、地元ならびにご来場いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

●千葉用水総合管理所（千葉県）

「大和田機場　春の一般開放」を開催

みんなに大人気　チーバくん

4月5日（土）、場内に植樹されている桜も満開となり、春のあたたかい日差しの下、『大和田機場春の一般開放』を開催し、約500名の方が訪れました。今年は、千葉県のマスコットキャラクター「チーバくん」も遊びに来てくれ、会場を盛り上げてくれました。

「知ってみよう！いんばぬま」と題したスタンプラリーでは、「なおす」「つかう」「まもる」をコンセプトに、印旛沼の関係機関である農林水産省関東農政局印旛沼二期農業水利事業所、印旛沼土地改良区（水土里ネット印旛沼）、水資源機構千葉用水総合管理所の3か所の展示ブースをめぐっていただき、知識を深めてもらいました。また、スタンプラリーの記念品として、千葉県水道局より「ちばポタ」（ペットボトル水）をご提供いただきました。

機構ブースでは、管理開始以降最高水位（Y.P.4.17m）を記録した昨年10月の台風26号に関連するパネルや、今年2月の季節外れの大和田機場洪水排水の時に300匹（総計約6トン）も大和田機場に来襲した巨大魚ハクレンの実物大模型に注目が集まっていました。

大和田機場のポンプ試運転では、毎秒15トンのポンプの運転が開始されると「すごい～」など周りから大きなどよめきが聞こえました。このポンプ試運転にあわせ、実際のポンプを間近で見ながら印旛沼の水位管理の話やポンプの仕組みなどを説明する「大和田機場ポンプ見学ガイドツアー」も行い、子どもを中心に約50名が参加しました。

あっという間に午後3時の閉場となり、名残惜しそうに場内を走り回る子どもたち…来年も関係機関の皆様とともに「手作り」のイベントを開催できればと思います。

ポンプ場の見学

淀川水系

●比奈知ダム管理所（三重県）＆一庫（ひとくら）ダム管理所（兵庫県）

たくさんの鯉のぼりがダム上空を泳ぐ！

比奈知ダム

今年も比奈知ダムでは、連休期間中の4月26日から5月6日までの間、地元の方々から寄贈された鯉のぼり約60匹をダム堤頂に掲揚（けいよう）しました。

この鯉のぼりの掲揚は、管理を開始した平成11年から始め、今年で16回目となります。期間中は、600人を超える方々が訪れ、ダム上空をダイナミックに泳ぐ鯉のぼりの眺望を、写真撮影などをしながら楽しみました。

また、比奈知ダムと同じ、関西支社管内に所在する一庫ダムでも、4月18日から5月15日までの間、鯉のぼりの掲揚が行われ、約100匹の鯉が大空を泳ぎました。

比奈知ダム、一庫ダムでは、来年も鯉のぼりの掲揚を行う予定です。新緑が素晴らしいこの時期に、ぜひダムにお越し下さい。

一庫ダム

吉野川水系

●池田総合管理所（徳島県）

吉野川での水質試験・稚鮎放流　「環境学習会」を実施

約2万6,000匹の稚魚を放流

4月15日（火）、環境学習会を吉野川美馬（みま）橋河川敷（池田ダム下流）において実施しました。

この学習会では、吉野川西部漁業協同組合が実施している稚アユの放流体験と、水資源機構による簡易水質検査（パックテスト：pH、COD※）を、地元の小学生約30名に体験してもらいました。

体長10センチ前後の稚アユを放流した小学生からは、「泳いどる！」など明るい声が聞こえ、放流した稚アユの姿を夢中で目で追っていました。簡易水質検査では実際に吉野川の水を検査し、結果は良好でした。

池田総合管理所では、このような地元小学生に体験してもらう環境学習会を年に数回実施しており、吉野川への関心を高め、水の大切さを理解するきっかけづくりとするとともに、職員が吉野川の環境や生態系について地域の方々と学ぶ機会としています。

※　pH（ピーエイチ、ペーハー）…水素イオン濃度。酸性又はアルカリ性に傾いている度合いを表す時に用いる単位。中性はpH7.0、数値が7.0より低ければ酸性、高ければアルカリ性と言います。
COD（シーオーディー）…化学的酸素要求量。水中の有機物を酸化剤で酸化するのに消費される酸素の量で、水質汚濁の指標の1つとなっており、湖沼・海域で環境基準値が定められています。単位はppmまたはmg/l。この値が大きいほど水中の有機物は多いことになり、汚濁の程度も大きい傾向にあります。

大型連休前に一般開放施設の点検を実施

水資源機構の各ダム施設では、春の大型連休前に一般開放施設の点検を実施しました。

この取り組みは、一般の方々に施設を安全に利用していただくため、ダム周辺の公園などの安全点検を、関係機関の方々と合同で行うもので、例年来訪者が増加する大型連休前に行っています。

各管理所では、柵の破損など、異常がないか、職員がじっくり点検しました。

平成 26 年　河川功労者表彰について

この表彰は、河川愛護活動等に功績があった団体または個人について、各都道府県等からの推薦に基づき、公益社団法人日本河川協会が毎年実施しているものです。

このたび、水資源機構の推薦した 2 団体も、同協会から「河川功労者表彰」を受賞しました。

特定非営利活動法人揖斐自然環境レンジャー

（岐阜県揖斐郡揖斐川町）

平成 13 年設立以来、「徳山ダム上流に実のなる木を植えよう大作戦」を主催し、流域の水循環の健全化を図るとともに、「揖斐川流域クリーン大作戦」を主催し、河川清掃活動をはじめ、地元建設業関係者の協力を得て水源地域の清掃、ゴミの不法投棄の監視・撲滅のための啓発活動等を行うなど、流域の水循環の健全化等に尽力されました。

とよはしきこり隊

（愛知県豊橋市）

平成 17 年に森林ボランティアとして結成され、一級河川豊川の水源地支援活動として、宇連ダム上流の地元共有林の間伐作業や、豊橋市内の人工林を対象とした間伐支援を行っています。

また、活動を持続的なものとするため、隊員の養成、安全意識や技術力の向上を目的とした自主勉強会等を行うなど、流域の水循環の健全化等に尽力されました。

これって、なあに？

群馬用水のアチコチにある、このスティックみたいなもの…これ、なあに？

これはエアーステッキというんだよ。

群馬用水の水は開水路やトンネル、管路などを使って、送水されているんだ。その管路のそばに、このような地面から突き出た傘の柄のようなものがあるんだよ。これは、エアーステッキといって、管路の空気の排除と供給を行い、急な水の流れの変化による管路の破壊を防いだり、水が流れやすくしたりするために設けられた施設なんだ。

群馬用水　ふーちゃん

え、なぜ、傘の柄のように曲がっているのかって？

それは、異物が入らないよう工夫しているんだって！

水の量が大きく変動した時には、空気の動きと一緒に音や少量の水が出ることもあるけれど、壊れた訳ではないから安心してね！